Oriental Land Co.,Ltd.

2026年3月期
業績予想

2025年4月28日
株式会社オリエンタルランド

Oriental Land Co.,Ltd.

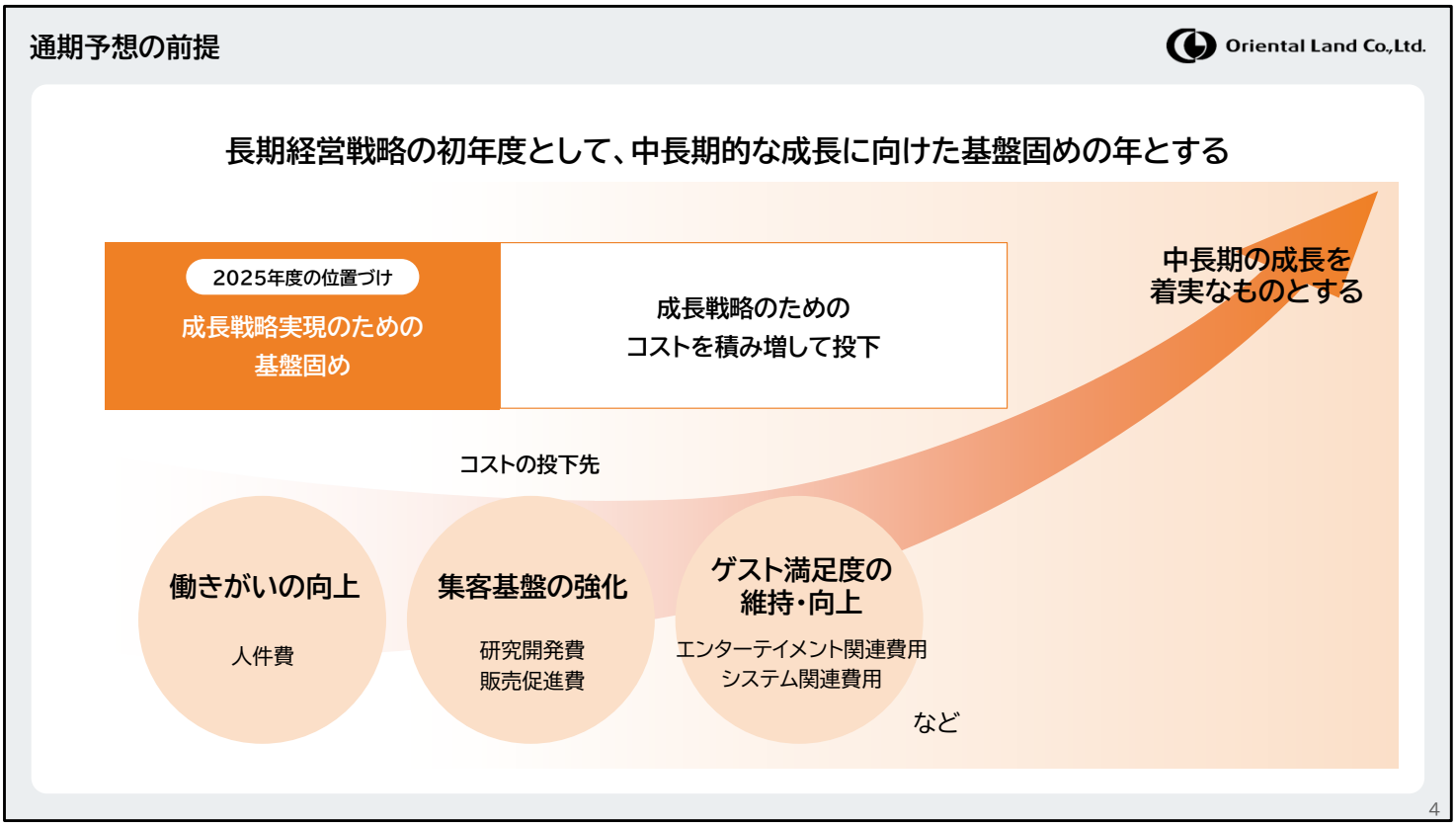
Ⅰ. 2026年3月期　業績予想

Ⅱ. 特別株主優待の実施

Oriental Land Co.,Ltd.

Ⅰ. 2026年3月期　業績予想

Ⅰ.　2026年3月期 業績予想



通期予想の前提

2025年度は、短期目線ではなく中長期の目線に立ち、
長期経営戦略の初年度として、中長期的な成長に向けた
基盤固めの年と考えています。

そのため、成長戦略の実現に向けての資源配分を行うべく、
中長期的なリターンなどへ繋がるコストを、積み増して投下します。

具体的には、働きがいの向上として賃金改定などの人件費や、
集客基盤の強化の実現に向けた研究開発費や販売促進費、
ゲスト満足度の維持・向上のためのエンターテイメント関連費用、システム関連費用などです。

コストコントロールを推進し、コスト削減を並行して行っていくものの、
単年度の利益を追求するのではなく、将来に向けての投資を積極的に行っていきます。

通期予想（前期比較）

Oriental Land Co.,Ltd.

入園者数の増などにより増収を見込むものの、コストの増などにより減益となる見込み

（億円）

連結損益計算書	2025年3月期 実績	2026年3月期 予想	増減	増減率
売上高	6,793	6,933	139	2.1%
テーマパーク事業	5,521	5,601	79	1.4%
ホテル事業	1,104	1,172	68	6.2%
その他の事業	167	159	△ 8	△ 4.9%
営業利益	1,721	1,600	△ 121	△ 7.0%
テーマパーク事業	1,404	1,239	△ 164	△ 11.7%
ホテル事業	304	358	53	17.7%
その他の事業	6	△ 2	△ 8	-
経常利益	1,733	1,608	△ 125	△ 7.2%
税金等調整前当期純利益	1,735	1,608	△ 127	△ 7.4%
親会社株主に帰属する当期純利益	1,241	1,133	△ 107	△ 8.7%

5

通期予想（前期比較）

2026年3月期通期業績予想は、ご覧のとおりです。

当期は、入園者数の増などによる増収を見込んでいるものの
コストの増などにより減益となる見込みです。

通期予想（前期比較） － 主な増減要因

Oriental Land Co.,Ltd.

テーマパーク事業
入園者数

ファンタジースプリングスの通年稼働や海外ゲスト数の増などにより、入園者数は増加を見込む

	2025年3月期 実績	2026年3月期 予想	増減	増減率
売上高（億円）	5,521	5,601	79	1.4%
入園者数（万人）	2,756	2,800	44	1.6%

入園者数の増

- ファンタジースプリングスの通年稼働による増
- 海外ゲスト数の増
- 長期保有株主用パスポートの減

6

通期予想（前期比較）－主な増減要因

テーマパーク事業の売上高は、
79億円増の5,601億円となる見込みです。

入園者数は、
長期保有株主用パスポートの減はあるものの、
ファンタジースプリングスの通年稼働や、海外ゲスト数の増などにより
44万人増の2,800万人を見込んでいます。

通期予想（前期比較） ー 主な増減要因

Oriental Land Co.,Ltd.

テーマパーク事業
ゲスト1人当たり売上高

ゲスト1人当たり売上高は、過去最高の前期とほぼ同様を見込む

	2025年3月期 実績	2026年3月期 予想	増減	増減率
売上高（億円）	5,521	5,601	79	1.4%
ゲスト1人当たり売上高（円）	17,833	17,792	△ 41	△ 0.2%
アトラクション・ショー収入	9,386	9,540	154	1.6%
商品販売収入	5,084	4,906	△ 178	△ 3.5%
飲食販売収入	3,362	3,346	△ 16	△ 0.5%

ゲスト1人当たり売上高は
ほぼ同様

- **アトラクション・ショー収入の増**
  - 変動価格制による高価格帯チケット構成比の増
  - 長期保有株主用パスポートの減による増
  - ディズニー・プレミアアクセスの増
  - 東京ディズニーリゾート・バケーションパッケージの減
- **商品販売収入の減**
  - ファンタジースプリングス関連商品の減
  - ダッフィー＆フレンズ20周年関連商品による増
- **飲食販売収入はほぼ同様**

7

通期予想（前期比較）ー主な増減要因

ゲスト1人当たり売上高は、
41円減の17,792円となる見込みです。

アトラクション・ショー収入は、
東京ディズニーリゾート・バケーションパッケージの減を見込むものの、
変動価格制による高価格帯チケット構成比の増に加え、
長期保有株主用パスポートの減による増などにより増加する見込みです。

商品販売収入は、
ダッフィー＆フレンズ20周年関連商品により増するものの、
ファンタジースプリングス関連商品の減などにより
減少する見込みです。

飲食販売収入は、
ほぼ同様となる見込みです。

通期予想（前期比較） － 主な増減要因

Oriental Land Co.,Ltd.

テーマパーク事業
営業利益

各コストが増加することから減益を見込む

（億円）

	2025年3月期 実績	2026年3月期 予想	増減	増減率
売上高	5,521	5,601	79	1.4%
営業利益	1,404	1,239	△ 164	△ 11.7%

（億円）

営業利益の減

売上高の増	
商品・飲食原価率の増	約△ 10
人件費の増	約△ 75
前期業績賞与計上による減	16
正社員人件費の増	約△ 60
準社員人件費の増	約△ 10
その他	約△ 20
諸経費の増	約△ 155
メンテナンス費の増	約△ 30
研究開発費の増	約△ 20
エンターテイメント関連費用の増	約△ 20
租税公課の増	約△ 20
スペシャルイベント関連費用の増	約△ 15
販売促進費の増	約△ 10
システム関連費用の増	約△ 10
その他	約△ 30
減価償却費の増	△ 2
新規資産取得による増など	

※コストにおける△表示は、営業利益に対する減少影響を示しています。

8

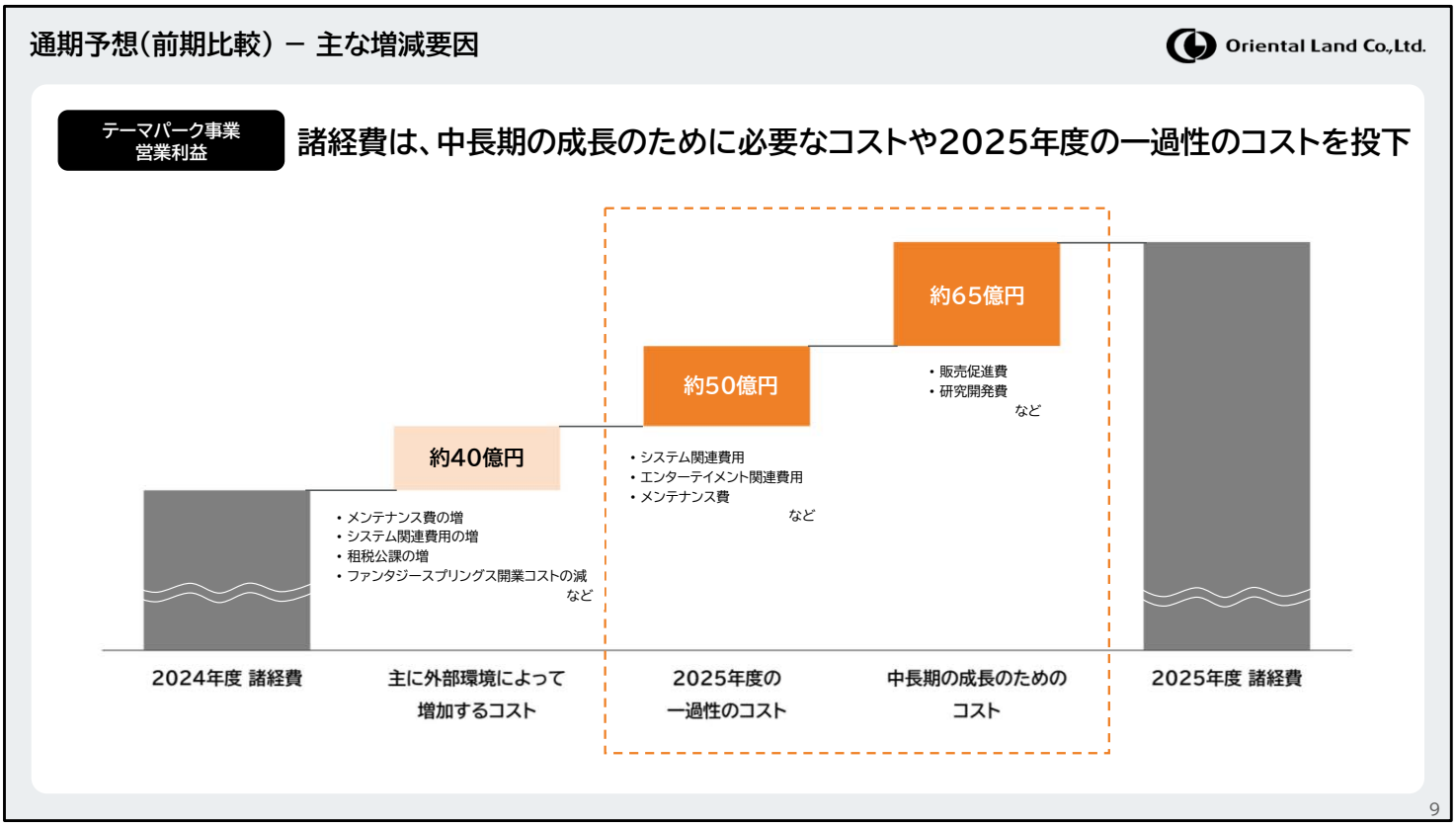
通期予想（前期比較）－主な増減要因

テーマパーク事業の営業利益は、164億円減の1,239億円となる見込みです。

商品・飲食原価率は、
飲食原価率の賃金改定などによる製造人件費率の増などにより
約10億円の増加を見込んでいます。

人件費は、
前期に計上された業績賞与が減するものの、
賃金改定や、人数増などによる正社員人件費の増などにより、
約75億円の増加を見込んでいます。

減価償却費は、
既存資産の償却進行による減を見込むものの、
ファンタジースプリングスの通年稼働などにより
2億円の増加を見込んでいます。



通期予想（前期比較）－主な増減要因

諸経費は、約155億円の増加を見込んでおり、
増減のイメージはご覧のとおりです。

約40億円の増については、主に外部環境によって増加するコストです。
ファンタジースプリングスの開業コストが減するものの、
メンテナンス費用やシステム関連費用などは外部環境などに鑑み、増加を見込んでいます。
今後は中長期的に、抜本的なコストコントロールによる適正化を目指し、
増加幅を最小限に抑えます。

それ以外の約115億円の増については、
2025年度のみ発生する一過性のもの、もしくは中長期の成長のためのコストによるものとなります。

冒頭にもお伝えしましたとおり、成長戦略の実現に向けての資源配分として、
中長期の成長のために必要なコストを積み増し、
2035長期経営戦略で掲げている財務目標を達成していきます。

通期予想（前期比較） ー 主な増減要因

Oriental Land Co.,Ltd.

ホテル事業

宿泊収入の増により増収増益を見込む

（億円）

	2025年3月期 実績	2026年3月期 予想	増減	増減率
売上高	1,104	1,172	68	6.2%
ディズニーホテル	1,014	1,081	66	6.5%
その他ホテル	89	91	1	2.1%
営業利益	304	358	53	17.7%

売上高の増

- 東京ディズニーシー・ファンタジースプリングスホテルの通年稼働による増
- 客室単価の増

営業利益の増

- 売上高の増
- 人件費の減（約 10億円）
  ー 前期業績賞与計上による減
  ー 賃金改定による増
- 諸経費の増
- 減価償却費の増（△ 7億円）

※コストにおける△表示は、営業利益に対する減少影響を示しています。

10

通期予想（前期比較）ー主な増減要因

ホテル事業の売上高は、
東京ディズニーシー・ファンタジースプリングスホテルの通年稼働による増や
客室単価の増などにより、
68億円増の1,172億円を見込んでいます。

営業利益は、
諸経費や減価償却費が増するものの、
前期の業績賞与計上による人件費の減などにより
53億円増の358億円を見込んでいます。

通期予想（前期比較） ー 主な増減要因

Oriental Land Co.,Ltd.

その他の事業

イクスピアリのリニューアルに向けた改修工事などにより、減収減益を見込む

（億円）

	2025年3月期 実績	2026年3月期 予想	増減	増減率
売上高	167	159	△ 8	△ 4.9%
営業利益	6	△ 2	△ 8	-

売上高の減

- 不動産賃貸収入の減によるイクスピアリ事業の減

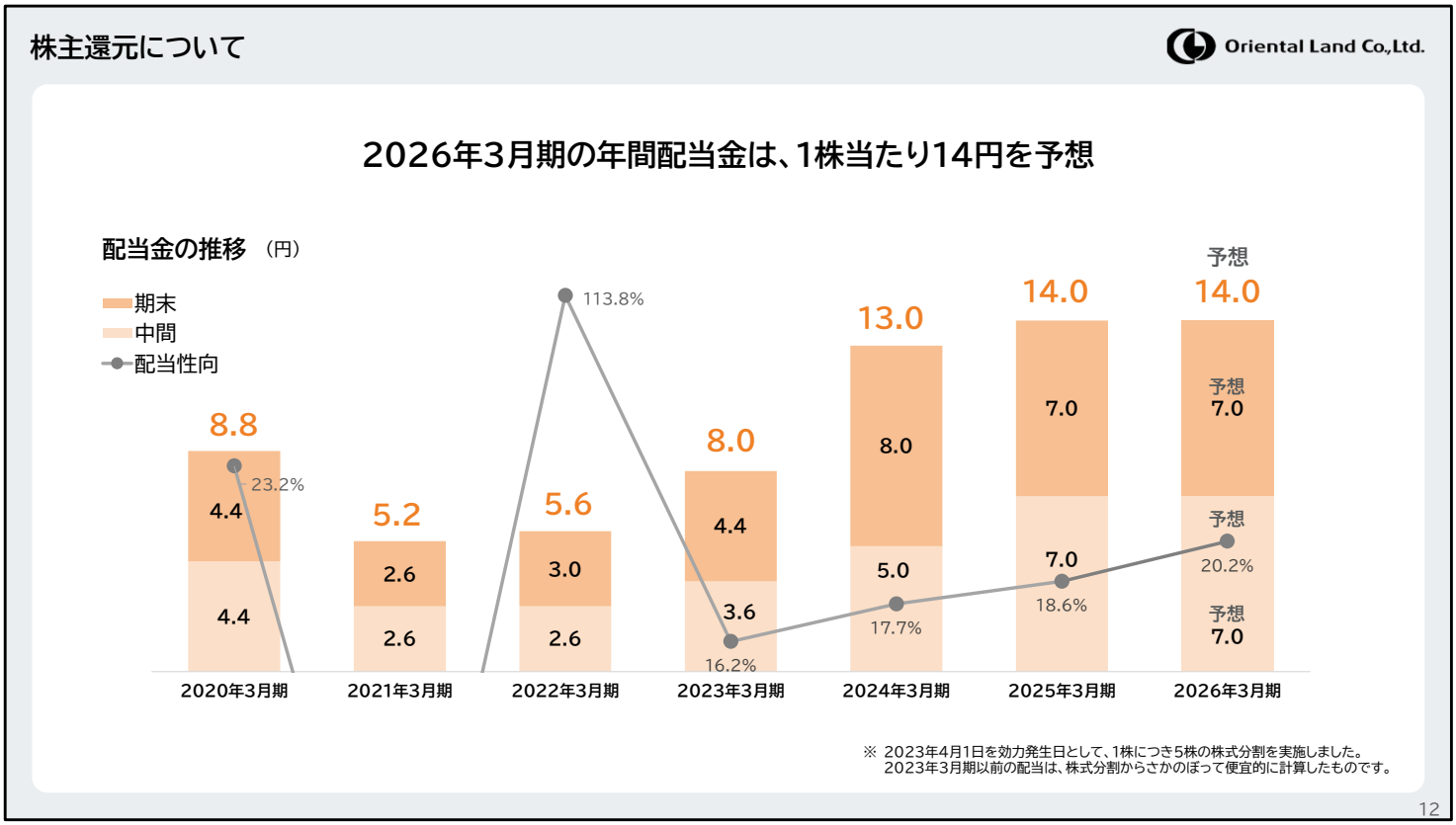
営業利益の減

- 売上高の減
- 諸経費の増

11

通期予想（前期比較）ー主な増減要因

その他の事業は、
イクスピアリのリニューアル向けた改修工事などに伴う不動産賃料収入の減などにより、
売上高は8億円減の159億円、
営業利益は8億円減少し、2億円の損失となる見込みです。



株主還元について

配当についてご説明します。

通期業績予想を踏まえ、2026年3月期の年間配当金は、
1株当たり14円を予想しています。

2035長期経営戦略で発表のとおり、
引き続き安定配当を継続しながら、成長投資に優先的に資源配分を行いつつ、
2035年までに配当性向を30%まで継続的に高めていきます。

2026年3月期業績予想と、今後の財務方針を総合的に勘案し、
配当金は前期から据え置くこととしました。

Oriental Land Co.,Ltd.

Ⅱ. 特別株主優待の実施

Ⅱ． 特別株主優待の実施

特別株主優待の実施

Oriental Land Co.,Ltd.

65年間の感謝の意を込めて、特別株主優待を実施する

特別株主優待の実施

創立65周年特別株主優待※1

優待内容	通常の株主優待制度の配布に加え 1デーパスポート※2を1枚
保有株式数	100株以上保有
配布対象	2025年9月30日時点（基準日）で 当社株式を保有いただいている株主
配布時期	2025年12月（予定）

※1 本特別株主優待は、創立65周年を記念して今回限り、現行の通常優待および長期優待に加えて行うもの
※2 東京ディズニーランドまたは東京ディズニーシーどちらかのパークでご利用いただける有効期間が2026年8月31日までの1デーパスポート

配布基準

所有株式数	9月末	3月末	合計	長期※3	特別株主優待※1
100株未満	-	-	-	-	-
100株以上	-	-	-	1枚	1枚
500株以上	-	1枚	1枚		
2,000株以上	1枚	1枚	2枚		
4,000株以上	2枚	2枚	4枚		
6,000株以上	3枚	3枚	6枚		
8,000株以上	4枚	4枚	8枚		
10,000株以上	5枚	5枚	10枚		
12,000株以上	6枚	6枚	12枚		

2025年4月時点（通常株主優待・長期保有株主優待）

※3.本長期保有株主優待の配布基準は、2023年9月30日の基準日以降、100株以上の当社株式を3年以上継続して保有いただいた株主*
*毎年3月31日を基準日および9月30日を基準日とする株主名簿に、同一の株主番号で、連続して7回以上記載された株主

14

特別株主優待の実施

当社グループは今年で創立65周年を迎えます。
株主の皆さまに今までの感謝の意を込めて、
特別株主優待を実施することとし、
2025年9月30日時点で100株以上保有していただいている株主の皆様に、
1デーパスポートを1枚配布します。

2035長期経営戦略で発表のとおり、
配当性向の向上や、自己株式の取得、株主優待の拡充などにより
引き続き株主還元を強化してまいります。

株主・投資家の皆さまにおかれましては、
これからも成長していく当社グループを中長期的に見守っていただきたく、
ご指導・ご鞭撻のほどどうぞよろしくお願いいたします。

Appendix

2026年3月期 テーマパークイベント・新規アトラクションカレンダー

Oriental Land Co.,Ltd.

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
東京ディズニーランド	★ 1/15~6/30 NEW イッツ・ア・スモールワールド with グルート											
	★ 4/8~6/30 NEW 「ディズニー・パルパルーザ」第4弾 「ドナルドのクワッキー・ダック！ダック！ダックシティ！」					★ 9/17~10/31 「ディズニー・ハロウィーン」				★ 1/1~1/12 お正月のスペシャルイベント		
				★ 7/2~9/15 NEW 「サマー・クールオフ at Tokyo Disney Resort」				★ 11/11~12/25 NEW 「ディズニー・クリスマス」				
	★ 4/8~6/30 NEW 「スター・ツアーズ:ザ・アドベンチャーズ・コンティニュー」 スペシャルバージョン											
東京ディズニーシー	★ 2025/4/8~2026/3/19 NEW 「ダッフィー＆フレンズ20周年:カラフルハピネス」											
	★ 4/8~6/30 「東京ディズニーシー・フード＆ワイン・フェスティバル」					★ 9/17~10/31 「ディズニー・ハロウィーン」				★ 1/1~1/12 お正月のスペシャルイベント		
				★ 7/2~9/15 NEW 「サマー・クールオフ at Tokyo Disney Resort」				★ 11/11~12/25 「ディズニー・クリスマス」				
	★ 1/9~4/6 タワー・オブ・テラー: Level13			◆ 7/16~ NEW 「ドリームス・テイク・フライト」(ハンガーステージ新規ショー)								

※イベントの名称、開催期間および内容は変更になる場合があります。※2025年4月28日時点で公表しているものを記載しています。

★ スペシャルイベント・プログラム　◆ 新規アトラクション・ショーなど

16

投資額・償却費（2026年3月期予想／2025年3月期実績）

Oriental Land Co.,Ltd.

（億円）

投資額 （有形固定資産・無形固定資産・長期前払費用）	2025/3 実績	2026/3 予想	増減	主な増減要因
テーマパーク事業	594	985	390	
東京ディズニーランド	331	528	196	『シュガー・ラッシュ』の世界を舞台としたアトラクションの増 スペース・マウンテンの増
東京ディズニーシー	591	238	△ 353	*前年度、東京ディズニーシー大規模開発プロジェクトの投資額の一部を その他から東京ディズニーシーに固定資産計上したことによる減 更新改良の増
その他	△ 328	218	547	*前年度、東京ディズニーシー大規模開発プロジェクトの投資額の一部を その他から東京ディズニーシーに固定資産計上したことによる増 更新改良の増
ホテル事業	82	39	△ 42	東京ディズニーシー大規模開発プロジェクトの減
その他の事業	226	128	△ 98	クルーズ事業の減
（消去又は全社）	△ 1	△ 2	△ 1	
合計	902	1,150	248	

償却費 （有形固定資産・無形固定資産・長期前払費用）	2025/3 実績	2026/3 予想	増減	主な増減要因
テーマパーク事業	555	557	2	
東京ディズニーランド	174	153	△ 20	東京ディズニーランド大規模開発の減
東京ディズニーシー	286	309	23	東京ディズニーシー大規模開発プロジェクトの増
その他	94	94	△ 0	
ホテル事業	70	78	7	東京ディズニーシー大規模開発プロジェクトの増
その他の事業	29	30	1	
（消去又は全社）	△ 1	-	1	
合計	654	666	12	

Oriental Land Co.,Ltd.

株式会社オリエンタルランド　経理部IRグループ
www.olc.co.jp

注意事項：
本資料は、OLCグループの業績及び今後の経営戦略に関する情報の提供を目的としたものであり、当社が発行する有価証券の投資勧誘を目的としたものではございません。

本資料にて開示されているデータは、発表日現在の判断や入手可能な情報に基づくものです。当社グループの事業は、顧客嗜好・社会情勢・経済情勢等の影響を受けやすい特性を持っているため、本資料で述べられている予測や見通しには、不確実性が含まれていることをご承知おきください。

テーマパーク入園者数については単位未満を四捨五入、財務データについては単位未満を切り捨てて記載しています。
本資料の転載はご遠慮ください。